



イベント 終了しました

## 演劇への入口講座 第4回 小道具から楽しむ歌舞伎 — こだわりのモノづくりにせまる！

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>あふれるような色彩に満ちた歌舞伎の舞台美術。その細部に見えるのは、実に精緻な小道具たち。華やかな舞台を支える小道具には、見えないところまでのこだわりが強く見られ、日本人ならではのモノへの思いを感じることが出来ます。</p> <p>当日は歌舞伎の舞台で実際に使用されている小道具を紹介しながら、小道具のあれこれをお話します。舞台でしか見られない小道具を間近に見、時には触れることの出来るチャンス。</p> <p>こだわりのモノづくり、小道具の視点から歌舞伎を楽しんでみませんか？</p> <p>※千代田区民の方は住所が確認できるものをお持ちください。</p>
日にち	2015年11月07日（土） 14:00から16:00

日にち説明	当日の受付開始 13:30～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）
参加費用	1,000円（千代田区民500円）

講師・出演者	近藤真理子／田村民子
プロフィール	<p>■近藤 真理子（こんどう まりこ） 1977年、東京生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業後、藤浪小道具株式会社に入社し、現在は演劇部演劇課係長。歌舞伎の舞台を中心に多くの公演を小道具方として担当しつつ、伝統芸能の中で後継者が絶えかかっている技術や物を次代に繋げていくべく、講座・イベントの開催など活動の幅を広げている。</p> <p>■田村 民子（たむら たみこ） 1969年、広島市生まれ。能楽や歌舞伎などの裏方、職人を主な領域とするライター。2009年より伝統芸能の道具の調査、作れなくなっている道具の復元を行う「伝統芸能の道具ラボ」を開始。『かぶき手帖2014』特集「歌舞伎の小道具」、東京新聞連載「能楽お道具箱」執筆。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
協力	藤浪小道具株式会社

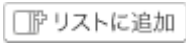
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2015年09月14日 10:00 から2015年11月07日 14:00
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

<b>カレンダー表示</b> <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	<b>2015年 11月</b>						
	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28

29 30

発信日

2015.09.14



ツイート